

産官学連携活動 (2016年度)

1. 地域に根ざした生涯学習等に関する産官学連携事業

1) 官学連携

■ 公開講座

上尾市教育委員会・さいたま市教育委員会の共催「公開講座」は、2016年度は、5/7-7/9 全10回、4講座開講。地域住民、のべ191名受講(詳細は『データブック2018』P78)。

■ リカレント教育講座

埼玉県福祉部と本学の協定による高齢者を対象とする授業科目の開放は、2016年度も実施。受講者98名。(詳細は『データブック2018』P50)。

■ 学習支援活動

さいたま市教育委員会と本学の協定により、2010年度より「教員を目指す学生による学生活動支援」を開始。本学学生をさいたま市立小学校に派遣。2016年度の派遣学生はアシスタントティーチャーとして10名、チャレンジスクール5名。(詳細は『データブック2018』P49)。

■ 子ども大学 あげお・いな・おけがわ

本学、日本薬科大学、埼玉県教育局、上尾市教育委員会、桶川市教育委員会、伊奈町教育委員会で組織された子ども大学 あげお・いな・おけがわ実行委員会が主催する子ども大学は小学校4～6年生までの違う学校・学年の子どもたちが大学のキャンパスで学ぶ子どものための大学で大学教員など専門家がわかりやすく教える。

2016年度は「市場経済ってなんだろう？」と題した授業を5・6年生を対象に6月11日(土)、6月18日(土)の2回を本学で開催し、それぞれ40名が参加した。(詳細は『データブック2018』P78)。

■ あげお子ども大学

上尾市が主催する「子どものための大学」。大学のキャンパスで、上尾市在住の小学5・6年生対象に大学の教授が物事をわかりやすく教える特別講座。2016年度は「ドビュッシー“月の光”をめぐって」、「忘れないでね～東日本大震災のこと～」と題した授業を11月26日(土)に本学で開催。小学生28名が参加した。(詳細は『データブック2018』P78)。

2) 産学連携

■ 「コープみらい」による寄付講座

「寄付講義」は、コープみらいが地域社会づくりへの参加、社会貢献活動の一環として 2009 年から行ってきた事業。2013 年から 4 年間、本学で開催している。

2016 年度は、2016 年 4 月～ 2016 年 7 月まで「地域社会と生協」をテーマに 12 名受講。

2. 地方自治体との連携事業

2013 年 4 月、地域連携・教育センターが開設し、さいたま市、上尾市、春日部市、岩手県釜石市を中心に地域連携活動を積極的に展開している(詳細は『データブック 2018』P62 参照)。

■ 「特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化推進に係る連携協定」について

2014 年 7 月 18 日、埼玉県と、「特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化推進に係る連携協定」を聖学院大学及び、ものづくり大学と締結した。これは、特別県営上尾シラコバト住宅の共助による活性化等に関する取組・研究について、相互に連携を図り推進するもの。具体的な事業概要は以下。

・事業概要 高齢化が進む古い団地の活力を向上させるために、団地の一部を学生と子育て世帯向けの部屋に改修し、若い世代が入居するというモデル事業を実施する。入居する学生や子育て世帯には自治会活動に参加してもらうことで、現在の入居者と共に支え合う「共助」の関係を築いていく。

・取り組み状況 本学学生が、2015 年 1 月よりシラコバト団地に入居開始。2014 年度末は 2 名だったが、2015 年度は 8 名、2016 年度は 13 名、自治会活動への参加を開始している。

■ 「上尾市自転車のまちづくり産学官協働事業」について

2014 年度より、上尾市との協定に基づき、同市所在のブリジストンサイクル株式会社とも連携し、市が推進する自転車の街化事業の一環としてフェスティバルへの協力を実施している。「自転車のまち“あげお”スマートサイクルフェスタ」の実施に向けた産学官協働事業実行委員会を組織し、実行委員としての参画や学生によるステージ出演、運営補助ボランティアなどを通して協力している。2016 年度は 3 月 25 日(土)に実施され、参加者延べ約 3,500 名を得、盛況となった。本学からは学生ボランティア 22 名が参加した。

■ 県央地域振興センターと協働 ―「定住促進政策」提案

埼玉県が 2016 年度に RESAS 普及促進事業を実施。そこで、県央地域振興センターと協働で、「身近な大学周辺のまちを題材に、まちの見方、問題などへの対応方法を学ぶ」ことを目標とし、RESAS を活用しながら本学の学生が若者目線で「定住促進政策」に取り組んだ。後日「地域の未来を考える政策プロジェクト会議」で提案を発表した。

■ 上尾市商工課との協働 — 市内事業所 PR ビデオ制作

上尾市では 2016 年度から市内事業所の P R 活動を推進しており、本学の学生が市内の企業訪問・紹介動画の製作に取り組んだ。3～4 分間の動画にまとめ、上尾市農商工観ポータルサイト あげポタ上で放映した。2016 年度は市内の企業 3 社の PR ビデオを制作した。

■ 埼玉・上尾の魅力発信へ — PR ビデオ制作

NPO 法人「AGETTO」の協力で、本学の学生が、上尾市の名所や老舗を紹介する P R ビデオを制作。荒川周辺の見どころを紹介する内容と、市内の地酒や和菓子を紹介する内容の 2 つを企画した。ビデオは JR 上尾駅コンコースで放映された。

3. 地域産業界との連携事業

■ これまでの活動の経緯の要約

さいたま北商工協同組合との連携が行われ、2012 年度のさいたま北商工協同組合の事業計画書に聖学院大学のインターンシップ事業の実施が組み込まれた。2013 年度は 2 事業所 4 名の実績であったが、2014 年度は 5 事業所 8 名、2015 年度は 5 事業 12 名、2016 年度は 5 事業所 8 名の実績だった。

■ 成果事例における雇用・経済効果、社会的意義等のインパクト

同商工協同組合の事業計画になることで、本学の就業力の学修の場の拡大、また地元企業にとっても本学の学生の採用とのマッチングが期待できる。

■ 産学連携のきっかけ

同商工協同組合は、本学地元経済団体である。同団体主催の地域活動に、学生や教職員が積極的に参加することなどにより、関係の強化を図ってきた。

以 上